

近畿第一ブロック2年間の歩み

H23年2月ブロック協議会2p

H23年6月合同茶会2p



H23年12月ブロック協議会2p



H24年3月みどりの絆プロジェクト3p

H24年2月ブロック協議会3p

H24年6月ブロック研修会4p



H24年7月サマーコンファレンス6p



H24年9月国際交流研修IN台湾6p



H24年10月次期青年部役員研修6p

H24年12月16日ブロック協議会、「国際交流研修IN台湾」報告茶会@京都市国際交流会館



同 風

第26号

発行日 平成24年12月31日
 機関紙命名 鵬雲齋大宗匠
 題字揮毫 納屋宗淡師
 発行所
 (社)茶道裏千家淡交会青年部
 近畿第一ブロック
 発行人 近畿第一ブロック長
 安田 浩人
<http://www.chakai.com>
 裏千家ホームページ
<http://www.urasenke.or.jp>

平成23年度ブロック協議会

平成23年2月6日(日)
於 京都私学会館



ホームページ委員会



茶会委員会



海外ミッション委員会



会員交流委員会



合同委員会



広報委員会



青年部魅力up委員会



東日本大震災チャリティ合同茶会 淡交会青年部近畿第一ブロック 裏千家学生茶道研究会 テーマ「祈望の奏」

平成23年6月12日(日)
於 妙心寺 龍泉庵



受付



待合



濃茶席



薄茶席



平成23年度ブロック協議会／研修会

平成23年12月4日(日)
於 京都府民ホールアルティ



呈茶



近畿第一ブロック 30年のあゆみ
年表、写真資料の展示



講演会「京のあたりまえ～
お正月から師走まで」
京都検定講習会講師 岩上 力先生

特別講話「これからの青年部について」
近畿第一地区 地区委員長
森田 宗圓先生

ブロック協議会

『みどりの絆プロジェクト』

平成24年3月11日(日)

全国代表者会議議長

米澤 昭博 統括副ブロック長

これは、今期の全国委員会で、お家元の提唱される「想いつづける心」を受けて立ち上げた震災支援プロジェクトです。

一年を迎える3月11日、有志で陸前高田におもむきました。全国で同日多くの祈りの一碗をしていきましたが、私達は華蔵寺さまにて一周忌法要、私も衣を着て参列し慰霊に一碗をお供えさせていただきました。本堂には白いお位牌が大小60は有りましたでしょうか…

ご遺族にお呈茶をさせていただきます細やかな交流も芽生えました。

一年前のその時間、旧市役所の前で海に向かい黙祷を捧げました。みんな泣いていました。素晴らしい仲間達だと思いました。

一年前とにも変わらない風景：支援はまさにこれから。青年茶人の出来ることを模索しようではありませんか！写真の泥だらけの赤いランドセル、この持ち主がどうぞ生きておりますようにと祈るだけでした。まだまだ続きます。力を合わせましょう！



平成23年6月12日 合同茶会待合にて

私たちの思いを届けていただきました。 メッセージカードに思いを込めました。

平成24年度ブロック協議会／研修講演

平成24年2月5日(日)
於 京都私学会館



裏千家淡交会 特別参事
近畿第一地区 監事
北野 宗道先生

「青年部員よ 茶道を志す人よ 何をなすべきか」と題して、大きな変革期を迎えようとしている今、青年部として、ブロックとして、茶道にどう向き合えばよいか、先生の体験をもとにお話をお聞きしました。

「全ての根本は人間関係にある。自分と自分の先生との人間関係がしっかりできているか、部長として、教えておられる先生方全員との人間関係ができていますか。人間は体験していくことでももの見方が変わっていくのは当たり前のこと。茶道に対して今の自分の思いを確実にもっていないければその目的が分からなくなり面白くなる。茶会を催すにあたって、何のためにするのかの思いをしつかりと持つていなければする意味がない。リーダーに必要な条件は『希望・情熱・勇気』である。すべてのことに対して、「昔から…」ではなく、もう一度問い返していくことが大切である。青年部とはお茶を通して『人間力』を養っていく同志である。」
自分自身を、そして青年部を顧みるいい機会となりました。(広報委員会)



呈茶



協議会



ブロック研修会

平成24年6月16日(土)～17日(日)
於 御所西京都平安ホテル

一日目



式典



呈茶



実技講習

「割稽古、薄茶平点前」

今日庵業躰部

鮎子田 宗恵先生

鮎子田先生は、まず「皆さん、お茶は好きですか?」「ではその「お茶」とは何でしょう」「点前手順のことですか。お客様をもてなすこと?それとも?」と問いかけられました。また、何故お茶は技術の習得を意味する「練習」といわず、「稽古」というか。字の如く、古(いにしえ)をかんがみることが稽古だと。そして実技では、真のお辞儀を通して基本の構えを、点前はこの形の中で展開すること、体が基本の形を覚えることがまず大切だとお教えいただきました。帛紗の扱い、棗・茶杓の清め方を丁寧に講習いただき、入門した頃に習ったけれど、ついいい加減になっていたことを改めて学ぶことができました。その後青年部会員による割稽古・薄茶平点前のデモンストレーションに、同時進行で解説をいただき、わかりやすく、気づきの多い和やかな時間でした。最後に、「いつものメンバー、道具、点前手順であつても、お互いを思いやる気持ちを常に忘れず、毎回新しい発見をしながらお稽古していきたいと思います」とのお言葉をいただき、心を新たに致しました。(広報委員会)



サプライズ呈茶



懇親会2



懇親会

二日目
合同茶会

淡交会青年部近畿第一ブロック
裏千家学生茶道研究会
テーマ「あじ彩」



〈濃茶席〉於 八坂神社清々館

同志社大学茶道部 大谷 旭

私は、今回初めて合同茶会に参加し、本席の水屋のお手伝いとして入らせていただきました。これまで部内の茶会で水屋を担当した経験は多少あったものの、こうした大きな茶会に参加したことはなく新鮮な体験でした。
事前に念入りの計画を立て当日を迎えました。茶席においてはいかに周りとの関係を把握し柔軟に対応し、みなさんと楽しく時間を過ごすということが大切であるかを勉強しました。もちろん周りの方が色々ご配慮してくださったからの経験ですが、またひとつ茶会の大きな楽しみ方をこの合同茶会を通じて得ることが出来たと思います。



〈薄茶席〉於 いふじ(円山公園内)

京都北支部 葵青年部 仁井名 修

薄茶席は裏千家学生茶道研究会が主体となっており、お客様をおもてなしました。私たちはサポートする立場としての参加でしたが、それぞれ違う学校の皆さんが協力しあって手際よく進められる姿に学ぶことの多い一日でした。

第4回サマーコンファレンス

テーマ「見つけよう 茶の力、広めよう 茶の心」

平成24年7月21～22日
於 東京ドームホテル

滋賀支部 竹生青年部 初田 明美

今回、大変貴重な体験をさせて頂いたいただき、ありがとうございます。今回より、事前に10名のグループを組まれ自己紹介や初日の呈茶の内容について約一ヶ月前よりメールでメンバーと話し合い、呈茶のお菓子や道具はメンバーで持ち寄り、出合いの一碗として呈茶を行いました。事前にメールでのやりとりがあったので、すぐに打ち解けることができ、有意義な二日間を過ごすことが出来ました。本当にありがとうございます。



呈茶・オリエンテーション：グループディスカッションのグループごとに道具やお茶菓子を持ち寄って円卓を囲み、お家元からご用意して戴いた抹茶で互いに一碗を点て合いました。



特別講演「思うようには行かないのが人生!？」
小泉 純一郎 元内閣総理大臣

奈良支部 明日香青年部 岡本ゆかり

初日の夜にグループディスカッションがありました。交流夕食会でお酒も入った後のプログラムでしたので、大人たちは意見がどんどん出てきます。これをグループ内の学生2人が冷静に誘導していくという展開でした。全国から集まったグループの皆さんとの熱い意見交換はとても良い刺激で本当に楽しかったです。



グループディスカッション：今回の大きな特徴が、実行委員（青年部全国委員・全国委員補）をリーダーとするグループを編成し、事前に連絡を取り合って連携を深めた上で当日の研修に臨むという形を取った点です。



東日本大震災の被害が特に大きかった東北3県で青年部活動を行っている会員の代表が登場し、震災以後の取組みについて報告



お家元対談
中田英寿氏（写真上）
牧瀬里穂氏（写真下）

国際交流研修 IN 台湾

平成24年9月8～10日
於 台湾台北市



海外ミッション委員会

担当副ブロック長 駒井 潤

今回のミッションが成功したのには、たくさんの方々のおかげがありました。感謝に堪えません。行事を通じて多くの気付きを得ていただいたことと存じます。その事を是非とも今後の青年部活動に活かしていきたい。

一日目
ウエルカム茶会



夕食会



二日目

「交流茶会」交流協会文化ホール
点茶体験



京都南支部 山城青年部 米澤 和枝

体験コーナーでは台湾の方にお茶を点てもらい、日本のお菓子を用意し、自服で飲んでいただきました。

言葉は違っても伝統文化を共有し美味を食する心は一つだと思いい、このような企画に参加させていただいたことに深く感謝し感謝しております。

暖かい国台湾は私たちの心も温かくしてくれました。

和菓子体験



京都市支部 葵青年部 松本 功

今回の台湾研修は、みんなのおかげでお菓子体験も楽しく、笑顔、笑顔で終えることができました。忙しい三日間の研修でしたが、様々な方との交流もできて、大変充実した時間でした。ありがとうございます。



奈良支部 飛火野青年部 野村 秀和

交流茶会で茶箱(卯の花点前)のデモン
ストレーションと呈茶を。台湾に到着し
て直に設営と準備。秋の装いが出るように
結界の向うにススキや菊等で垣根風にして
みました。当日は、予想以上に喜んで頂け
ました。

着付け体験



京都西支部 洛西青年部 渡辺 博明

開場してから閉会まで列が並ぶ、盛況ぶ
りに嬉しい悲鳴でした。
皆さん、着付け開始当初は、緊張されて
いたようですが、浴衣姿に完成したら笑顔
に。
その笑顔が嬉しく、台湾まで来た甲斐が
あったと実感出来る瞬間でした。

「台湾茶藝研修」陸羽茶藝センター
茶芸交流

奈良支部 春日野青年部 辰田 充弘

陸羽茶藝センターで、交流行事として、
裏千家のお茶について、お点前を体験いた
しました。事前の準備も、茶藝センターの
皆さんの協力によりスムーズに進行できま
した。小島さんのお点前に茶藝の先生方も
喜んでいただけ、お互いに楽しいひととき
を共に出来た達成感あふれるものとなりま
した。



日本のお茶デモンストレーション



台湾のお茶デモンストレーション



台湾のお茶体験



記念品交換



「友好交流親睦会」

京都北支部 葵青年部 竹内 裕貴

私達懇親部会の面々は交流茶会では
それぞれ他の部会のお手伝いをいたし
ました。主担当である友好交流懇親会
では、受付準備
など時間がとれ
ずバタバタした
中でのスタート
でしたが、参加
者の皆さまの協
力で台湾裏千家
の皆さまとも楽
しく交流ができ
よかったです。



ブロック研修会 次期青年部役員研修

平成24年10月13日(土)
於 京都私学会館

「青年部で学んだもの
皆に継承してほしいもの」

全国代表者会議議長

米澤 昭博 統括副ブロック長



「組織について」

「青年部の運営について」

総本部 橋本 一郎 事務局長



「会計について」

総本部 川村 修平 財務部部长



「平成25年度ブロック新体制について」

竹内 裕貴 副ブロック長



「謝辞」

岡本 政明 直前ブロック長



卒業にあたって

ブロック長 安田 浩人

青年部には30年近く在籍させて頂きましたが、その間大変多くの友に恵まれました。お家元に感謝 お茶に感謝 出会いに感謝 仲間感謝 一盤に感謝・・・の気持ちでいっぱいです。

青年部に入って本当に良かった！長い間お世話になり有り難う御座いました。

直前ブロック長 岡本 政明

太田元ブロック長に突然「入会申込みしておいた」つて言われて14年が経ちました。その間、「やればいんですよ」の精神で頑張ってきました。沢山の方と巡り会い、楽しいお茶を経験する事も出来ました。感謝！

統括副ブロック長 米澤 昭博

素晴らしい仲間感謝です。私を育ててくれた青年部、ブロックに感謝です。学びたい、楽しみたい！ そのため頑張る姿と笑顔を沢山見ました。その全てが私の『宝物』です。また楽しいお茶でお会いしましょう！



ブロック会議にて花束贈呈

副ブロック長 藤原 奈緒美

「奈緒美ちゃん」といつも呼びかけてくれた先輩、同輩達、「奈緒美さん」と呼んでくれる後輩達。そう呼んでくれる仲間たちに恵まれたお陰で楽しいブロック活動をおくることができました。居心地の良い場所でした。皆に感謝です。

副ブロック長 松本 美恵子

平成11年からブロックの役に就き、多くの先輩と出会い学ばせて頂きました。自分出来ることは何か、自問自答しながら、周りの方の迷惑にならないように頑張ってきたような気がします。ブロックに参加し、青年部に入会できたことに感謝致します。

任期を振り返って

ブロック長 安田 浩人

長かったようであつという間、あつという間のようでやっぱり長かった青年部生活の最後の最後に大役を仰せつかりました。

これまでいろいろなお役をさせて頂きましたが、特に今回は本当に多くの方々に支えて頂いた二年間でした。皆々様に感謝感謝感謝申し上げます。



幹事長 村山 早智子

ブロック幹事長を拝命して二期目。今期は来年度からの青年部新体制に向けて、今までのブロックからかわる準備期間となりました。楽しいだけではない、いつも以上に充実した時間を過ごせましたこと、皆様に感謝しております。ありがとうございました。

編集後記

お茶を通じて多くの皆様に出会った二年間でした。

本紙の発行に際し、当委員会にご指導ご鞭撻を賜りました皆様、又ご多用の中、原稿の依頼を快くお引き受け頂き、感謝いたします。有難うございました。



青年部に入会しやすくなります！

淡交会青年部は裏千家茶道を愛好する50歳以下のメンバーが様々な活動を通じてお茶の心を学び、自らを高め、友情をはぐくむ場です。平成25年からの青年部はより入会しやすい組織として衣替えをし、仲間の輪を広げつつ新たな時代へと歩みを進めます。あなたも青年部に入会してみませんか？

入会条件が変わります！

正副支部長・支部顧問・終身正会員以上の教授者、に加えて25年度より淡交会正会員で学校茶道指導者のいずれかの推薦があれば入会できます。学校でお茶を学んでいる学生や、卒業と同時に茶を続けられなくなった学生さんも指導者の推薦があれば入会OK!

年会費が変わります！
 今まで1万円だった年会費が
 26歳以上 3,000円
 25歳までは1,000円に！